

「行って！観て！食べて！夕張への旅」の発売をPR

「行って！観て！食べて！夕張への旅」のPR活動をJR札幌駅構内で【夕張市】と【JR北海道】が合同で行います。

JR北海道では、6月8日から一部開館する夕張石炭博物館を組み込んだ特別な夕張応援ツアーを発売しています。この度、札幌駅構内で夕張市とJR北海道が合同でツアーパンフレット等の配布を行います。是非、この機会に夕張市を満喫しませんか？

JR札幌駅構内 パンフレット配布

- 配布実施日
6月4日(火) 16:00頃(予定)
- パンフレット配布場所
JR札幌駅西コンコース
- ツアー出発日
6月15日(土)(日帰り)
- 旅行代金
お一人様9,800円 ※子ども8,500円
- 募集人数
先着40名

※詳しくは専用パンフレットをご覧ください。
別紙にて、5月20日の発売に関するプレスリリースをお知らせいたします。



パンフレットイメージ

<ツアー概要>

- 6月8日から一部開館する夕張石炭博物館にて館長である吉岡様が資料展示室(本館)をご案内、更に、ツアー中に日本遺産認定地域の石炭の歴史をご説明いたします。
※夕張石炭博物館の模擬坑道の見学はできません。
- 夕張神社では宮司より夕張神社の歴史をご説明いたします。
- 初競り2玉で500万円と過去最高金額がついた夕張メロンの出荷場を見学、ランチでは「夕張メロン食べ放題付きバイキング」をお楽しみいただけます。

■発売箇所

・JR北海道 ツインクルデスク 電話受付のみ

■商品内容、ご予約に関するお問合せ先

・JR北海道 ツインクルデスク 0570(07)5489 (9:30~19:00)

※詳しくは弊社ホームページ内の「旅の情報・北海道発国内ツアー」をご覧ください。

<https://www.jrhokkaido.co.jp/travel/tour/pack.html>

2019年5月20日

【祝 炭鉄港の日本遺産認定記念】

団体ツアー「行って！観て！食べて！夕張への旅」

JR北海道では、「炭鉄港」の日本遺産認定記念後、初めてのツアーとして、夕張市と連携した団体ツアーを実施いたします。ご参加の皆様には、「炭鉄港」ストーリーの構築にあたって中心的役割を果たし「夕張市石炭博物館」で館長を務める吉岡様からの特別講演や「夕張鹿鳴館」・「旧北炭清水沢水力発電所」などのガイドの他、夕張神社、幸福の黄色いハンカチ思い出ひろば等をまわります。

また初夏の夕張の「食」として、特産品の「夕張メロン」の集荷場見学を行い、その後、ランチでは夕張メロン食べ放題付きバイキングをご堪能いただきます。

日本遺産認定を受けた夕張で「観光」と「食」を満喫いただく日帰りの旅に、多くの皆様のご参加をお待ちしています。

1 ツアーご案内

- 出発日 2019年6月15日（土）
- 旅行代金 札幌駅発着 大人お一人様 9,800円（こどもお一人様8,500円）
- 募集人員 40名 ※添乗員同行 1名様からお申し込みいただけます。
- 発売開始 2019年5月21日（火）14:00開始
- 申込箇所 JR北海道 ツインクルデスク 電話受付のみ
0570(07)5489(9:30~19:00)
※駅・ツインクルプラザではお取り扱いしておりません。
- 引取箇所 JR北海道 ツインクルプラザ・ツインクルデスク（郵送のみ）
- ツアー詳細について
弊社ホームページ内の「旅の情報・北海道発国内ツアー」
をご覧ください。（5月21日頃掲載予定）

2 ツアーポイント

- 出発は札幌駅からスーパーとがち1号にご乗車いただき、新夕張駅からは貸切バスで観光地を巡ります。※お帰りは貸切バスで札幌駅までご乗車いただきます。
- 「夕張市石炭博物館」館長である「札幌国際大学教授」の吉岡様から、日本遺産に認定された夕張の石炭の歴史についてご説明いただきます。
- 夕張神社では宮司より夕張神社の歴史をご説明いただきます。
- 幸福の黄色いハンカチ思い出ひろばでは石炭燃焼体験を予定しています。
- 今年も6月から出荷を開始する「夕張メロン」の出荷場を見学、ランチでは「夕張メロン食べ放題付きバイキング」をお楽しみいただきます。

■略歴

吉岡宏高（ヨシオカヒロタカ）

札幌国際大学観光学部教授、NPO法人炭鉱の記憶推進事業団理事長、夕張市石炭博物館館長

1963年生まれ・三笠市出身。父は北炭幌内炭鉱（三笠市）労務課職員、母は北炭平和炭鉱（夕張市）出身。出身地である空知産炭地域では、NPO法人炭鉱の記憶推進事業団の理事長として、「負の遺産」と捉えられてきた炭鉱遺産を地域固有の資源として活用する地域活性化の活動を実践している。空知産炭地域活性化戦略会議委員長、産業観光検討会議委員長、道央地域観光戦略会議会長など、これまでに100以上の公職を歴任。著書に、『明るい炭鉱』『炭鉱遺産でまちづくり』（単著）、『産業観光への取り組み』（共著）など。